



おがわ たかお
小川 貴夫
自由民主党田原市議団



渥美地域の市民サービスについて、農業者や漁協等の関係団体に意見を聞いては

関係団体などの声を聞きながら、窓口の取り扱い状況を踏まえ、職員配置の必要性を検討していく

渥美地域の市民サービスの在り方について

問 要望が多様化する中で、市民サービスを維持するための取り組みは。

答 窓口業務の工夫や道路維持管理におけるバックホウなどの機器導入などによる効率的な事業運営と、地域との連携協力により市民サービスの維持に取り組んでいる。

問 道路班の人数を増員する考えは。

答 現状の体制で、維持管理課と調整しながら作業効率の向上に努めていく。

問 ICT活用においては、機械に不慣れな方もいるため、支所等に対応職員を配置しては。

答 ICTを活用した窓口について、必要に応じて検討していく。

問 渥美地域の市民サービスについて、農業者や漁協、観光事業者等に意見を聞いては。

答 関係団体や市の関係部署の意見を聞きながら、窓口の取り扱い状況を踏まえて、職員配置の必要性について検討していく。

問 多世代交流施設へあつみライフランドを機能移転した場合の人員配置は。

答 事務職員、保健師、家庭相談員、その他必要な職員の配置を想定している。

問 すくっとに配置されている子育てコンシェルジュを多世代交流施設に配置する考えは。

答 現在、あつみライフランドに子育てコンシェルジュは配置されていないが、すくっとから定期的に来て事業を実施している。移転後も同様の体制を想定しているが、さらなる需要があれば検討していく。

問 あつみライフランドには無料巡回バスがあるが、多世代交流施設への利用者の移動手段は。

答 あつみライフランド巡回バスは特例的に運行しているもので、他の公共交通と競合する点や、他の子育て施設や福祉施設との関係もあるため、今後、調整していく。



で1カ月の時間外在校等時間45時間超の教員ゼロを目指して取り組みを進めていく。

問 次期計画策定のスケジュールや、保護者や地域への情報を提供する内容および意見交換について、現時点での考え方は。

答 次期計画策定スケジュールについては、令和7年度早々から情報提供や意見交換を開始できるよう準備を進め、年度末を中途に計画の基本的な方向性について整理していきたいと考えている。保護者や地域への情報提供および意見交換については、市全体や地域ごとの少子化の将来数値や国の示す学校規模の標準的な基準等の情報を示すとともに、地域において小中学校の果たしてきた役割等について意見交換を行い、小中学校の学

校配置の議論を深めていきたい。
令和7年4月1日付で「自由民主党田原市議団」から「空のひばり会」に所属が変更になりました。